

○高圧ガス 四方山話 その6

【ポンベの横倒し使用と横倒し保管】

ポンベ庫や実験室では立たせたポンベ（縦置きポンベ）をチェーン等で固定（上下2か所固定）し、保管していると思いますが、時々ポンベを横倒しで保管しても良いのかという質問があります。答えは「NO」です。九州大学では高圧ガス容器は全てスタンディングポジション（立ち位置）で保管するルールです。

では、法令はどうなっているのでしょうか。一般則6条2項8号に、「高圧ガス容器には転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置を講じる」ことが定められています。この条項に従い、ポンベには上下2か所のチェーン掛けをしているわけですが、特に縦置きと指定されているわけではありません。事実、ポンベカードルや輸送トラック積載時などでは横置き、横倒し積載（輸送時のみ）が行われています。このように全ての場合に亘り、横倒しが不可なのではありません。一方、高圧ガス容器の中には液化ガスを貯蔵している容器（炭酸ガス、LPガス）があり、これらのポンベは横倒し厳禁です。また、液体ではありませんが、アセチレンガスポンベも必ず縦置きしなければなりません。このため、ガス種による間違いやうっかりによるポンベ取扱ミスの危険を排除するため、九州大学をはじめ全ての高圧ガス事業所ではポンベの縦置き保管をルール化しています。

因みに、先程話したように圧縮ガスポンベカードルでは、ポンベは横積みされていますが、必ずポンベ間に僅かな隙間があります。長期間にわたるポンベ横積みは、下部ポンベに水滴等がたまり、腐食が進む好条件となってしまいますので、それを避ける必要もあるわけです。どうか、ポンベの縦置き保管にご理解を頂き、ルール遵守にご協力お願いいたします。

以上

(2021/1/13)

※コラムの内容はあくまで福岡市との協議で判断された内容もありますので
各自治体の判断が異なることがあります。